

事務事業評価表(既存事業)

コード 2-7-3	事務事業名 公共施設駐車場管理運営事業	所管部課 総務部保谷庁舎管理課
--------------	------------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 1 駐車場管理の適正化 2 駐車場混雑の緩和	総合計画上の位置づけ (政策)協働で拓くまちづくり (施策)健全な自治体経営の推進(協2-3) (主要施策)田無庁舎・保谷庁舎の整備
	実施内容、実施方法 庁舎管理委託業務の一部として巡回及び混雑時の対応を行う。	根拠法令等
	事業開始時期 平成 14 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 駐車場運営日数	活動指標の考え方(定義) 公共施設において、1年間で運営した日数。
	成果指標名 満車が生じた日数	成果指標の考え方(定義) 満車となり、混雑した日数
	混雑解消率	満車となり混雑した時に係員が対応することで混雑が解消した割合

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		2,395	1,752	1,752	1,566	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		2,395	1,752	1,752	1,566	
	所要人員(B)	人	0.05	0.03	0.03	0.03	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	412	248	250	250	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	2,807	2,000	2,002	1,816	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(駐車場運営日数)	千円	8	5	6		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	日			363	363
		実績値	日	363	364	363	
	活動指標	目標値					
実績値							
成果指標	目標値	日				24	
	実績値	日					
成果指標	目標値	%				100	
	実績値	%					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等 における類似事業	
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 2-7-3	事務事業名 公共施設駐車場管理運営事業	所管部課 総務部保谷庁舎管理課
--------------	------------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	・ 庁舎管理委託業務の一部として巡回及び混雑時の対応を行った。 ・ 駐車場管理としての委託業務ではないためその都度の対応となり、また駐車場に張り付いて台数の推移の確認は行っていない。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	専従で駐車場管理を行っていないため、混雑時の対応に問題がある。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	費用対効果を考慮して、機械式駐車場あるいは有料化について検証の必要がある。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	同一管理敷地内のこもれびホール南側駐車場とスポーツセンター西側駐車場双方同じような対応が必要となる。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	長期的な計画は今後の課題としながらも、当面、費用対効果を十二分に検証する必要がある。

17年度における改善点	警備員の巡回時間をローテーション化し、混雑時の応援体制を組織化した。
-------------	------------------------------------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。